

教員紹介

▶ 専任教員

研究者教員



学歴 京都大学大学院法学研究科 公法専攻博士後期課程修了 博士(法学)(京都大学)

研究テーマ・専門領域 憲法、憲法訴訟法、非営利団体法

憲法の授業で学習する憲法判例は、私たちの先人が基本的人権を求めて争った記録でもあります。裁判を起こすだけでなく、最高裁まで争うというのはよほどのことです。皆さんが最高裁の判決を読むときには、法理論を覚えるだけでなく、そこまで争わざるを得なかった当事者の苦境や切実な思いにも考えをめぐらせてほしいと思います。関西学院ロースクールでの学びを通じて、困難な状況にある人に寄り添うことができる、社会で本当に求められる法律家を目指しましょう!



学歴 大阪大学大学院法学研究科 公法学専攻博士課程単位取得満期退学

研究テーマ・専門領域 憲法、ドイツ基本権論、情報・メディア法

法的紛争には1つとして同じものはありません。それゆえ、学習した先例を個々の事案に機械的にあてはめることは御法度です。事案分析に際しては、先例と当該事案との距離感を意識することが最も大切です。授業では、「個別事情の捨象」や「十把一絡げ」といった思考停止を排除して、憲法判例を丹念に読み込んでいきます。憲法判例の射程を模索する楽しみを一緒に味わいましょう。



学歴 東京大学大学院法学政治学専攻博士課程単位取得満期退学

研究テーマ・専門領域 行政法、実効性確保、行政不服審査、国家賠償、情報公開・個人情報保護

行政法では、「初見の法律」を解釈し、「初見の事案」に適用して解決することが求められます。無理だと思われるかもしれませんが、法曹実務家にとっては重要な能力です。行政法理論という「文法・公式」と、判例という「お手本・例題」の「使い方」を学び、訓練すれば、できるようになります。問題には多数の「ヒント」が散りばめられているので、大丈夫。一緒に学びましょう!



学歴 東京都立大学社会科学部法学基礎法専攻博士課程単位取得

研究テーマ・専門領域 差止、公害、損害賠償

民法は広大な領域を含み、細部まで勉強し尽くすのは大変ですが、がんばりましょう。またでは、司法試験合格者数の抑制や弁護士の就職難などの暗い話題もありますが、抜群の快適な環境のもと、有能で熱意ある本学スタッフや先輩・友人と共に学ぶことで、必ず切り開いていけるはずです。



学歴 関西学院大学大学院法学研究科 民刑事法専攻博士課程後期課程単位取得満期退学

研究テーマ・専門領域 物権法、土地法、土地所有権論

司法試験の勉強は、時間的にも長く量も膨大で相当にハードなものです。しかし、その分やりがいもあります。快適な学習環境に身を置き、司法試験合格という目的意識をもって2年間、あるいは3年間を関西学院ロースクールで過ごしてみませんか。私も、教員としてできる限りのサポートができるよう日々勉強中です。西宮北口キャンパスとともに学びましょう。



学歴 大阪大学大学院法学研究科民事法専攻後期課程単位取得満期退学 博士(法学)(大阪大学)

研究テーマ・専門領域 民法、契約法、国際統一売買法

夢の実現のためには、信念と覚悟が要求されます。それはおそらく、生半可なものではなく、昼夜を問わず、図書館で昔の生えるまで頑張ることが必要とされるでしょうが、努力の末にはきっと大きな希望が待っていることを信じて、ともに議論いたしましよ。



学歴 青山学院大学大学院法学研究科私法専攻博士後期課程単位取得満期退学 ドイツ・ミュンスター大学 法学博士号取得

研究テーマ・専門領域 会社法、結合企業法、コーポレートガバナンス

会社法は条文も多い上に、分かりにくい法分野かもしれません。ですが、より良い経済社会の実現の一翼を担う法分野でもあり、大企業にとっても中小企業にとっても重要な地位を占めています。学生諸君が法曹になってから会社法を活用できるように、その手助けができればと思っています。



学歴 大阪大学大学院法学研究科民刑事法専攻博士課程前期課程修了

研究テーマ・専門領域 民事訴訟法・民事執行法・民事保全法・権利実現

他人に連れられて行った道はすぐに忘れてますが、自分で地図を読み、迷えば道行く人に尋ねて目的地まで着いた道は忘れません。法律の勉強も同じです。自分で基本書等を読み込み、考え、書くという作業をしなければ、司法試験に合格できません。教員は、「カーブあり」、「落石注意」等、標識の役割をしながら皆さんの歩道をしますが、道を行くのは皆さん自身です。本研究科でお待ちしております。



学歴 関西学院大学大学院法学研究科民刑事法専攻博士課程後期課程退学

研究テーマ・専門領域 刑法、犯罪、経済犯罪

刑法はとつきにくい科目だと言われることがありますが、論理的思考力を身につけるための格好の素材だと思います。私の担当目標は、学生諸君が刑事実体法の諸原則ならびにいわゆる犯罪論(体系論)及び個別の犯罪各論の基本的な知識を修得すること。さらには、事実の分析能力や体系論的刑法解釈論を涵養し、実務法曹としての必要な問題解決能力を獲得していくことをサポートすることにあります。しっかりとがんばってください。



学歴 立命館大学大学院法学研究科 博士課程後期課程修了 博士(法学)(立命館大学)

研究テーマ・専門領域 刑法、刑罰論、犯罪論、自由と責任

刑法は、抽象的に理解しにくい学問であると思われるかもしれませんが、その理論は具体的な実務的な問題の解決を目指して展開されています。論理性、体系的性と具体的帰結の妥当性を確保することが目指されています。これを達成するためには、解釈だけでなく事案の分析能力も必要になってきます。このような能力の涵養を通じて、法曹実務家として必要な問題解決能力を身につけていってもらえればと思います。私もそのお手伝いができるよう、尽力します。



学歴 一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了、博士(法学)(一橋大学)

研究テーマ・専門領域 被疑者取調べ、自白、イギリス

ロースクール生にとって司法試験はとてつもなく高い壁のように思えるかもしれませんが、実務家になるうえで最低限のスキルを試す一つの登竜門にすぎません。そして、そのスキルとは、法的三段論法の適用能力と言っても過言ではないでしょう。理想を実現するためのスキルの修得。身につけるのは決して容易ではありませんが、私も教員の一人としてそのお手伝いできればと思っています。

▶ 専任教員

実務家教員



学歴 東京大学法学部卒業 ミシガン大学ロースクール卒業(LL.M)

研究テーマ・専門領域 ローヤリング、シミュレーション教育、環境紛争

事実が与えられたとき、法律家らしい思考プロセスで解決案を提示する方法をマスターすることが目標です。正確な(限られた)知識をもとに、正義の感覚を重んじながら法律家らしい手順で解決案を模索している。具体的場面を想定しながら、条文での基本確認、言い分方式、法的メモ、模擬依頼者との面談、グループ討議など、ユニークな方法論を用いて、親身になって皆さんを徹底訓練します。



学歴 大阪大学法学部卒業

研究テーマ・専門領域 事業再生・企業倒産、企業法務、債権法改正

法曹実務家には、法律や判例の基本的な知識のほか、妥当な解決に向けた柔軟な法的思考能力、バランス感覚ある事実探求能力が必要です。その能力を獲得できるように、皆さんを精一杯サポートしたいと思います。ただ、教員の力には限りがあります。皆さん自分自身が弛まずに自己研鑽に努める向上心を持ち、同じ夢をもつ仲間たちと切磋琢磨していくことを期待しています。



学歴 東京大学法学部卒業

研究テーマ・専門領域 紛争解決、裁判の法政策形成機能、法曹の役割

法曹は、常に人への共感や正義感をベースに、事実と理論を探求し、全人格をもって社会に訴えていく魅力的な仕事です。私は、皆さんに、法を単なる知識でなく使える武器として身につけてもらえるよう、また法曹が紛争の解決にどのような役割を果たすべきかをいつも考えてもらえるよう、共に格闘したいと思います。特に模擬依頼者を活用したシミュレーション教育に力を入れています。

▶ 専任教員

実務家教員



学歴 関西学院大学法学部卒業 大阪工業大学知的財産専門職大学院修了

研究テーマ・専門領域 契約及び交渉実務、著作権法、消費者法

皆さんは、どのような法曹を目指しますか。社会の複雑化や国際化にともなって、法曹像も変化し、その活動領域はどんどん広がっています。ロースクールで習得する知識が、法曹実務にどのようにつながるのを知り、法曹としての社会での役割や使命も一緒に考えていきたいと思っています。私たちとともに、リーガルプロフェッショナルへの道を着実に進んでいきましょう。



学歴 東京大学法学部卒業 京都大学法科大学院修了

研究テーマ・専門領域 刑事裁判実務・法廷技術

刑事裁判の法廷は、国家権力が市民の自由・財産・生命を強制的に奪うことが正当化されるかどうかを見極める場です。刑事弁護人は、憲法と法律にしたがって、依頼者たる被告人の権利を徹底して擁護し、刑事裁判のルールに則った審理を求めていかなければなりません。それを実現するには、証拠法の正しい理解はもちろんのこと、法廷で判断者たる裁判官(時には裁判員)に、被告人の主張を証拠と論理によって理解してもらうための確かな法廷技術が不可欠です。理論と技術、そして情熱が法廷の空気を変えることを知ってほしいと思っています。



学歴 同志社大学法学部卒業 関西学院大学大学院司法研究科修了

研究テーマ・専門領域 自治体法務、行政法、住民訴訟

私は、関西ロースクールの1期生です。法律の勉強には、決して「効率的」か「近道」はありません。そのため、ロースクールでの日々は決して楽なものではありません。ロースクールの2年間の3年間間は、毎日勉強づけになって、仲間と一緒に地道な努力を繰り返し行うことにより、きっと法曹への道は開けてくると信じています。ともに法曹の道を目指して頑張りましょう。



学歴 京都大学法学部卒業

研究テーマ・専門領域 裁判実務、事実認定

刑事訴訟法は、刑事裁判を行うためのルールですので、刑事裁判実務の具体的なイメージを持つことができれば、刑事訴訟法の理解をより一層深めることができると思いますし、苦手な方もその面白さを知ってもらえると思います。そのような観点から、刑事裁判官としてのこれまでの経験を活かし、皆さんが実務家になるためのお手伝いできれば嬉しいと思います。



学歴 京都大学法学部卒業

研究テーマ・専門領域 要件事実論、訴訟運営論(事実認定論)

要件事実論と訴訟運営論(事実認定論)は、民事裁判実務の基礎であるばかりでなく、法曹としての考え方や仕事のやり方の基礎ともいえます。向学心のある皆さんと共に、議論の出発点に立ち返って法理論を理解し、正しい道筋で考えるだけでなく、その過程を第三者に対して説明する方法も研究して、皆さんが法曹としてのスタートラインに立つことを目指します。

教員紹介



基礎演習A・Cの担当者として、本学出身の若手法曹3名を講師として迎えています。基礎演習Aは新1年生を対象とした授業です。ここでは、皆さんが今後学修していくにあたって必要とされる基本的な法的知識はもちろん、法的思考力の醸成や、自学自習の土台作りを目的としています。また、基礎演習Cは2年生を対象にした授業で、民法総則物権全体を復習し、民法の基礎力を高めることを目的としています。実際に関学ロースクールで学び、司法試験に合格した先輩として、さまざまな視点から皆さんを導きます。

	<p>UCHIDA MASAFUMI 内田 昌史 (弁護士)大阪弁護士会・門脇法律事務所</p> <p>学歴 大阪大学経済学部卒業 2009年4月入学(未修) 2012年3月修了 2012年司法試験合格</p>
	<p>SASAKI AKIRA 佐々木 章 (弁護士)大阪弁護士会・C&L法律事務所</p> <p>学歴 同志社大学法学部法律学科卒業 2004年4月入学(既修) 2006年3月修了 2006年司法試験合格</p>
	<p>SAITO SATORU 齋藤 悟 (弁護士)兵庫県弁護士会・神戸仲町通法律事務所</p> <p>学歴 関西大学総合情報学部卒業 2009年4月入学(未修) 2012年3月修了 2012年司法試験合格</p>

最短=5年(法学部3年+法科大学院2年)で 司法試験現役合格の修了生が語る!関学ロースクールの魅力

	<p>AIHARA KENGO 相原 健吾 (弁護士)兵庫県弁護士会・神戸合同法律事務所</p> <p>学歴 関西学院大学 法学部早期卒業 2015年4月入学(既修) 2017年3月修了 2017年司法試験合格</p>
--	--

相原弁護士・実務家教員によるWEBインタビュー内容は
こちらから▶

Short Movie
「弁護士にきく
法曹の仕事とその魅力」
▶ 2021年4月初旬公開予定!

- 1 教員との距離が非常に近いので、質問しに行きやすい環境があります。疑問点をすぐに解消することができることは、勉強にとって大きなプラス要素となります。
- 2 現役の実務家教員^{*1}が多いことも大きなメリットです。実務の話の間近で聞くことができるので、自分の弁護士像を具体的に描くことができます。
※1 現役の法曹(弁護士・裁判官等)でありながら、本学の教員として授業を担当。
- 3 司法試験に合格した先輩からのサポートを受けられる土曜ゼミ^{*2}というものがあります。司法試験を受験した生の体験談を聞くことができたり、試験ならではのコツやテクニックを学ぶことができたりと非常に勉強になります。
※2 土曜ゼミの詳細は25-26pを参照ください。

▶ 兼任教員・兼任教員

<p>兼任教員</p> <p>一高 龍司 現職 関西学院大学法学部教授 主な担当科目 税法</p>	<p>北山 俊哉 現職 関西学院大学法学部教授 主な担当科目 公共政策論</p>
<p>大宮 有博 現職 関西学院大学法学部教授 主な担当科目 キリスト教と人権</p>	<p>守屋 浩光 現職 関西学院大学法学部教授 主な担当科目 近代法の形成</p>

兼任教員

<p>青木 哲 現職 神戸大学大学院法学研究科教授 主な担当科目 民事執行・保全法</p>	<p>豊田 兼彦 現職 大阪大学大学院法学研究科教授、元関西学院大学大学院司法研究科教授 主な担当科目 刑法特講B</p>
<p>赤西 芳文 現職 近畿大学法科大学院教授 主な担当科目 リーガルビックス</p>	<p>中野俊一郎 現職 神戸大学大学院法学研究科教授 主な担当科目 国際私法、国際民事手続法</p>
<p>東 龍平 現職 税理士 主な担当科目 簿記論</p>	<p>中村 衣里 現職 弁護士 主な担当科目 ジェンダーと法</p>
<p>内田 昌史 現職 弁護士 主な担当科目 基礎演習A</p>	<p>仁木 恒夫 現職 大阪大学大学院法学研究科教授 主な担当科目 法社会学、司法制度論</p>
<p>江口 文子 現職 弁護士 主な担当科目 消費者法</p>	<p>西尾 幸夫 現職 元関西学院大学大学院司法研究科教授 主な担当科目 会社法、会社法演習</p>
<p>長部研太郎 現職 弁護士、元関西学院大学大学院司法研究科教授 主な担当科目 立法演習</p>	<p>平野 仁彦 現職 立命館大学名誉教授、立命館大学法学部特任教授 主な担当科目 法哲学</p>
<p>海道ノブチカ 現職 関西学院大学名誉教授、元関西学院大学商学部教授 主な担当科目 経営学</p>	<p>藤井 司 現職 弁護士 主な担当科目 経済法演習</p>
<p>河村 学 現職 弁護士 主な担当科目 労働法演習</p>	<p>古庄 俊哉 現職 弁護士 主な担当科目 知的財産権法I(特許権)、知的財産権法演習I(特許権)</p>
<p>久保 成史 現職 元姫路獨協大学大学院法学研究科教授/経済情報研究科教授 主な担当科目 経済法</p>	<p>前田 忠弘 現職 甲南大学法学部教授 主な担当科目 犯罪学</p>
<p>黒田 愛 現職 弁護士 主な担当科目 法律英語</p>	<p>前田 麻衣 現職 弁護士 主な担当科目 ジェンダーと法</p>
<p>齋藤 悟 現職 弁護士 主な担当科目 基礎演習A</p>	<p>丸田 隆 現職 弁護士、関西学院大学名誉教授 主な担当科目 英米法総論、英米法各論</p>
<p>酒井 紀子 現職 弁護士 主な担当科目 経済法の基礎</p>	<p>村上 博一 現職 弁護士、元関西学院大学大学院司法研究科教授 主な担当科目 商法総合演習</p>
<p>櫻庭 涼子 現職 神戸大学大学院法学研究科教授 主な担当科目 労働法I(個別労働関係法)、労働法II(労使関係法と労働争訟法)</p>	<p>安原 徹 現職 公認会計士 主な担当科目 会計学、税法演習</p>
<p>佐々木 章 現職 弁護士 主な担当科目 労働法演習、基礎演習C</p>	<p>山形 英郎 現職 名古屋大学大学院国際開発研究科教授 主な担当科目 国際法、国際法演習</p>
<p>曾和 俊文 現職 関西学院大学名誉教授、同志社大学特別客員教授 主な担当科目 自治体行政法、自治体環境法</p>	<p>山下 侑士 現職 弁護士 主な担当科目 倒産処理法演習</p>
<p>平 覚 現職 大阪市立大学名誉教授 主な担当科目 国際経済法</p>	<p>李 嘉永 現職 近畿大学人権問題研究所准教授 主な担当科目 国際人権法</p>
<p>巽 昌章 現職 弁護士、元関西学院大学大学院司法研究科教授 主な担当科目 刑事模擬裁判</p>	<p>和田谷幸子 現職 弁護士 主な担当科目 ジェンダーと法</p>
<p>堤 龍弥 現職 弁護士、関西学院大学名誉教授 主な担当科目 民事訴訟法(第一審判決手続)、民事訴訟法II(上訴・覆審訴訟)、民事訴訟法演習</p>	<p>鰐部 昌彦 現職 元帝人フロンティア株式会社法務審査部長 主な担当科目 企業法実務I(企業統治とリスク管理)、企業法実務II(ビジネス法務)</p>